

令和6年度 芦別市立芦別中学校の学校経営に当たって(経営方針)

市内中学校統合を迎え、啓成中学校と本校がそれぞれ培ってきた伝統と特色を融合し、「星の降る里あしべつの未来を創造する中学生の育成」の実現に向け、「自分の夢や目標を語れる生徒」(9つのめざす生徒像)を設定し、知・徳・体の調和の取れた教育課程を編成し確実に実施いたします。加えて、令和6年度芦別市学校教育推進計画に基づき、「令和の日本型学校教育」の確実な実現に向け、チーム芦別中学校として次のことに取り組んで参ります。

【経営の視点】

持続可能な社会の創り手を育む「知・徳・体」の調和のとれた教育活動の実現

【9つのめざす生徒像】*太字はR6年度の重点

- ①**明朗な挨拶を交わす生徒** ②**自ら学ぶ生徒** ③**多様性・個性を尊重し仲間を大切にできる生徒**
④**芦別を愛し、芦別に誇りをもつ生徒** ⑤**目標に向かって努力する生徒** ⑥**礼儀正しく、協調性**
と**思いやり溢れる生徒** ⑦**地域社会の一員であることを自覚する生徒** ⑧**ねばり強く最後までやりぬ**
く**生徒** ⑨**強くたくましい心と体をめざし、粘り強く取り組む生徒**

【重点目標】

「星の降る里あしべつ」の未来創造の基盤となる生徒を育む新しい芦別中学校づくり
～自他を尊重し、個々のキャリア実現に向けて自ら努力する生徒の育成～

【具体的方策】

1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた単元・題材を中心とした授業改善(知識・技能の定着とそれらを活用した思考・表現する学習活動)

- 校内研修(全体研修やオンデマンド研修 OJT 研修等)を基盤としたチーム学校による授業改善
- 学習の見通しをもち、分かったことやできたことを実感できる学習活動の位置づけ
- 生徒一人一人が安心して学べる、「ユニバーサルデザイン」の視点を位置づけ、「芦別スタンダード」を基本とした学習指導過程の確実な実践

芦別スタンダード

- 1 板書スタイルの統一(課題・まとめなど板書に関わるマークをそろえる)
- 2 協働的な学びでのアウトプットの充実(既習事項を活用した課題解決に向けた表現する活動)
- 3 授業の終末での「振り返り」(分かったことやできたことを整理)
- 4 ICTの活用(個人端末の効果的な活用を単元・題材の指導計画への位置付け)

- 個人端末を活用するなどした主体的な学習習慣の定着

2 豊かな心の育み

- 挨拶や規範意識の醸成や自他を尊重し、生徒の心理的安全を確保する学級・学年経営の充実
- 生徒理解を基盤とした生徒の「自己指導能力」の育成に向けた生徒指導の充実
- 迅速で組織的な校内の生徒指導体制と関係機関等との連携体制の確立
- いじめの未然防止に向けた道徳的判断力等の道徳性の育成を図る道徳教育の充実

3 健やかな身体の育み

- 体力づくり・食・安全教育・健康教育についての各全体計画に基づく各活動の充実
- 交通安全、災害時の安全等、安全教育の充実

4 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

- マネジメントサイクルに基づく学校経営・学校運営の改善・充実
- 個に応じた支援体制の充実(特別に配慮が必要な生徒への対応、不登校対応 等)
- 学校段階間の連携と接続の推進
- 教職員の資質能力の向上
- 学校運営協議会(コミュニティスクール)の機能化
- 校務のICT化・整理を通じた持続可能な学校体制づくり(働き方改革の推進)
- 統合芦別中学校の円滑な教育活動の推進